

中間評価に対する意見

滋賀県公共事業評価監視委員会

番号	31	計画名	生活空間の安全確保のための通学路等の整備および無電柱化	事業主体	滋賀県
				施行箇所	県下全域

(意見)

○事業の進捗状況について

事業費からみた進捗率は12%にとどまっているが、大津能登川長浜線（青地）の歩道拡幅・バリアフリー化が完了している。

○事業効果の発現状況について

通学路等の歩道整備やバリアフリー化ならびに無電柱化により安心して通行できる歩行空間の形成に寄与していると認められる。

○評価指標の実現状況

自動車交通の危険にさらされる歩行者の割合は、5年間で2%縮減とする目標に対し、現状0.5%の縮減となっており、中間目標値の0.9%縮減を下回っている。

○今後の方針について

滋賀県の道路整備計画である「滋賀県道路整備アクションプログラム2013」に基づき、引き続きしっかりと歩道整備やバリアフリー化ならびに無電柱化等により安全な歩行空間の確保を進められたい。